

令和3年度計画3,900トン型護衛艦 命名・進水式 艦名「によど」

令和5年9月26日(火)、三菱重工業(株)長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している令和3年度計画3,900トン型護衛艦「もがみ」型7番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は増田防衛事務次官の出席を得て、俵佐世保地方総監執行のもと酒井海上幕僚長、江原九州防衛局長、板谷長崎防衛支局長をはじめ防衛省・自衛隊及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々に行われました。

命名式では、海上自衛隊佐世保音楽隊による国歌吹奏に引き続き、増田防衛事務次官が防衛大臣の自衛艦命名書を読み上げ、「によど」と命名されました。艦名は愛媛県及び高知県を流れる一級河川の仁淀川に由来しており、海上自衛隊では既に除籍艦となっている「ちくご」型護衛艦の7番艦「によど」に続いて2代目になります。

命名式に引き続き、長崎造船所立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、増田防衛事務次官が斧を振り下ろし支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊による軍艦マーチが奏でられ、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞うなか「によど」は進水しました。

「によど」はこれから本格的な装工事及び海上での確認運転等を実施した後、令和6年度中に就役する予定です。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。

